

# 鳥取 YEG 通信

TOTTORI  
YOUNG  
ENTREPRENEURS  
GROUP

# 11

発行：平成 29年 11月 15日  
鳥取商工会議所青年部  
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信 November 2017

■平成29年度

## 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部  
会長 **福田 通拡**  
株式会社 インテリア  
フクタ

日増しに寒さが身にしみるようになり紅葉の季節になりましたが、いかがが過ぎでしょうか。

カニの解禁を待ち遠しく思っておられる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。甲羅の黒い斑点はカニビルの卵で、付着数が多いと脱皮後の期間が長く身が詰まっていると言われています。また、胴体も重いものの方がカニミソだけでなく珍味の内子がつつきり詰まっているそうです。今年の冬は黒い斑点が多く、重いカニを購入してみたい。

さて、10月の例会はビジネスネットワーク委員会が担当しました。この委員会には会員間、また会員とOBの皆さまとの間でビジネスを生んでいくことを目的とし、設置した委員会です。今回は事前にそれぞれの会員が企業プロフィールを作成しました。そのプロフィールを基に、起業から設定した時間軸の中でいかにうまく会員企業を絡ませて架空のストーリーを描くかを競いました。近年入会された会員はともかく、長年付き合いのある会員同士でさえも知らない事が多くあり、驚かされるとにも見えない

ところで企業努力をされている姿に刺激を受けました。150社の企業が集まった大組織の中で多くのビジネスが生まれ、商工業発展の礎となることを願うばかりです。

また、9月30日には中国ブロック大会三次大会が開催されました。広島県三次市は、江の川、馬洗川、西城川の三川が巴状に合流し「巴峡(はきょう)」と呼ばれ古くから山陰と山陽を結ぶ交易の地として繁栄してきた街です。今回の大会テーマは「巴」流れ集いてひとすじにです。巴とは水の渦巻くような形を意味します。今回は三次の地で中国ブロック46単会で大きな渦を起こしたいと活動し、1600名以上の登録を得ることにしました。

当日の記念式典では江草ブロック代表と梵会長があいさつをされましたが、この大会にかける思いを聞き胸が熱くなりました。分科会では三次らしさ満載の鶴飼漁観光コース・マツダ車テスト走行コース・阿久利姫忠臣蔵史跡めぐりコースなど、地域性を生かした興味深い分科会が用意されており、参加者も普段できない経験に心躍らせておりました。三次YEGの皆さんのお蔭で思い出に残るブロック大会となりました。三次の地で1600名が起こした大きな渦を鳥取に持ち帰り、鳥取の地で150名の会員とともに大きな渦を起こしていきます。

今後も商工会議所青年部は、人・企業・地域の発展のためにまい進してまいります。応援よろしくお願いたします。

## 10月例会

日時 平成29年10月11日(水) 19:00~21:00  
場所 鳥取商工会議所 大会議室

去る10月11日(水)に10月例会をビジネスネットワーク委員会が担当例会として開催しました。

10月例会はビジネス交流会と称し、会員間のビジネスネットワークを更に広げることを目的に、ここ数年で大幅に増加した会員の氏名・顔・仕事内容を覚えていただくためにゲーム形式で例会を行いました。

内容は、会員を6グループに分け、事前に提出いただいた企業プロフィールフォームを活用し、仮想会社の起業をテーマに開業準備・開業・事業展開の時間軸でそれぞれ会員企業にどのような仕事を依頼(発注)するかを考え、会員間のビジネスネットワークを構築していただきました。各グループには当委員会のメンバーがコーディネーター役で付き、進行していきましたが、事前にシミュレーションを繰り返して練習したこともあり、スムーズな進行ができました。また、各グループが予想外のネットワークを構築し、会員の事業内容の認識につながったことと思えます。この6つのビジネスネットワークは、当委員会ですべてに集約し、鳥取YEGのビジネスネットワークを構築したいと考えております。

ビジネス交流は、人脈形成・人間形成、販路の拡大、異業種との情報交換などを目的に行われていますが、これらはわれわれYEG活動の中で自然と得ることが出来ます。YEG活動に積極的に参加し、ビジネス交流も深めていきましょう。

ビジネスネットワーク委員会

委員長 森田 浩一



会員による自己PR



ディスカッションの様子

# 鳥取三十二万石お城まつりに参加

9月23日(土)、24日(日)に開催された「第18回鳥取三十二万石お城まつり」に、江戸時代の参勤交代を再現した時代行列「奴踊り」に参加しました。  
五臓丸前からスタートし、きなんせ広場(サンロード)風紋広場若桜街道と練り歩き、各箇所を披露させていただきました。

1カ月前から練習を重ね、お城まつりに参加しました。この度は、新入会員の方を中心に参加するという事で、委員会から2名が選出され、練習会を6回行いました。

奴踊りを指導していただいたのは、当会メンバーstudio Ocityの大深仁恵先生です。

初めて奴踊りに参加される方がメインだったので、1、2回目の練習は全くと言っていいほど踊れませんでしたが、回数を重ねていくたびにめきめきと上達し、息もぴたりめき、顔にも自信が出てきて完璧な踊りになりました。

当日は、想像以上のお客さんに来場していただき、奴メンバーもびっくりに！真っ赤な顔を見て、小さいお子さんもびっくりにしていました！

奴に扮した青年部会員もお客さんもみんな笑顔で楽しい時代行列、奴踊りとなりました。

伝統の奴踊りに参加させていただき、お城まつりの歴史を知り、お城まつりに携わっている方々の思いを知り、YEGメンバーの思いを知り、この「鳥取三十二万石お城まつり」を今後より一層盛り上げていきたいと思いをもちました。

まち興し委員会  
副委員長 富田 光政



参加したメンバー



奴踊りの様子

# 流星プロジェクトin 宇宙祭に参加しました

本年度、鳥取県ととり創生若手タスクフォースの皆さまと鳥取商工会議所青年部の共催で「星取県民の日、流星プロジェクト」と題し、さまざまな催しを実施いたしました。そのプロジェクトの中の1つで、星取県民の日関連イベントである、鳥取砂丘☆宇宙祭「cosmic fes」に青年部メンバー24名でボランティアスタッフとして参加しました。

鳥取を好きになるのテーマに幅広い世代の160名を超える参加者が集まり、音楽や踊りを通して鳥取砂丘の夜を満喫されていました。

YEGは当日、スタップオリジナルポロシャツを作成し、県民の日の啓蒙活動、星取県の広報活動、宇宙食の販売など、時間の限り活動しました。

ボランティアにもかかわらず参加いただいたメンバーの皆さま、本当にありがとうございました。

今後も、さまざまな方に鳥取を好きになっていただける活動を行ってまいります。副会長 森下 大輔



参加したメンバー

# スキルアップ委員会 第3回オープン委員会 「粉体形成技術によるニッチ市場への挑戦 『ダメな社長と部長でもなんくるないさ』」

9月15日(金)、第3回、スキルアップオープン委員会を開催しました。今回はモルタルマジック(株)池原社長、磯江部長をお招きしての講演会を開催しました。初めに池原社長より、粉体であれば何でも固めて成形できる技術を基に作られた商品の説明をしていただきました。

鳥取では砂丘の砂、熊本では阿蘇の火山灰、静岡では富士山の土など、その土地の素材を生かした商品を作っていて、今後は全国各地の素材を使つての商品化を考えられているそうです。モルタルマジックさんは、高い技術力だけではなく行動力、そして何より仕事を楽しくしているのがとても印象に残りました。

池原社長、磯江部長、突然の講演の依頼にもかかわらず引き受けてくださってありがとうございました。モルタルマジックさんの「すべてを楽しく」を学ばせていただきました。スキルアップ委員会 委員長 三坂 淳仁



講師 池原正樹氏 磯江隆司氏



鳥取YEGは、地域を支える青年経済人の集まりであり、一緒に鳥取を盛り上げていただける方を随時募集しています。次世代を担う立場として、熱意を持って一緒に頑張りませんか?! 企業と地域を活性化させましょう! お気軽にお問い合わせ下さい。

TEL:0857-26-6666

(鳥取商工会議所青年部 事務局)

# 新入会員



橋上 塁君  
(はしがみるい)  
事業所名 橋上塗装店  
所属委員会 まち興し委員会